

宮城県建設機械リース業協会

平成 27 年度 第 2 回理事会 議事録

日 時 : 平成 27 年 7 月 15 日 (木) 12:00~14:00
場 所 : 協会会議室
出 席 者 : 菅野会長、山本、澁谷(代理浦山)、池田、東海林各副会長、
後藤、菅原、浦田、蛭名、伊藤 (代理高橋)、野里、五番、
中野(代理池端)、小野各理事 星、石井監事 計 17 名 (欠席 1 名)
事務局 小原

—配布資料—

1. 合同研修会次第他
2. 会報「15—41 号」検討資料
3. 収支報告書 (6/30 現在)
4. ホームページアクセス数 (6/30 現在)
5. 本部ヒアリング資料 (7/2 開催分)
6. 委員会名簿 (6/30 現在)

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。

又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により菅野会長が任にあたることを報告した。

* これより、菅野会長が議長を務めた。

* 菅野会長挨拶(要旨)

- ・県内で油圧ショベルの積込中の事故が発生しているようだが、価格競争による安全配慮不足が原因とならないよう、安全管理に十分に努めてもらいたい。
- 本来、価格以外の競争が目標であり、各自再確認の上今後でも取り組んでもらいたい。
- 本日の議題は、議案書記載の通りだが、スムーズなご審議をお願いしたい。

以下省略

議事録署名人…… (株)ウラタ建機リース浦田哲郎理事、ユナイテッド横山昭裕理事
の 2 名を指名した。

1. 本部常任理事会・支部長合同会議 (7/9) 報告……菅野会長
 - ・支部及び県リース協としての活動について討議が行われた。
 - ・今後の活動は、「本部と支部の一本化」の考え方のもと、県リース協会の名称によ

る活動をなくしていく方向で取り組んで行きたい。

- ・管理技士制度の復活により、レンタル協会組織の充実を図っていくようだ。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

2. 第一線営業担当者合同研修会報告(6/5) ……東海林副会長

(別紙資料の通り)

- ・「第一線営業担当者合同研修会」は80名以上の参加者のもと、6月4日(金)に1泊で開催された。
- ・新しい試みとして「提案営業の成果」を発表してもらった。
8名の方々に発表して頂いたが、今後も継続して、より良い形を造っていきたい。
- ・又、合同研修会の議題として、やまびこ産業機械㈱の発電機の取扱い説明があった。(実機を展示しての説明もあった)

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. 会報「15-41号」発行について……池田副会長

(別紙資料の通り)

- ・7月6日(月)広報委員が集まり、会報「15-41号」の発行について検討した。
- ・「活力の泉」の担当会員について、今回は東北リース㈱にお願いする事となった。
- ・会社訪問は、会員3社、賛助会員3社となる。
- ・会報掲載の広告に多くの会員・賛助会員の協賛をお願いしたい。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. その他

- ・次回開催日は、平成27年9月16日(水)12:00(協会会議室)
- ・ホームページアクセス数は、914件となっている。又、バーナー広告の希望者は今のところ無い。
- ・㈱ニッパンレンタルより新規入会希望の連絡があり、審議願いたい。

検討の結果=入会を承認する事となった。

- ・流通委員長及び重機部会長、汎用機部会長等の人選を急ぐ必要がある。
流通委員長に㈱大町澁谷氏、重機部会長に日立建機東日本伊藤氏、汎用機部会長に小野リース㈱小野氏が推薦された。

また、各分科会でのリーダー、副リーダーの補充についても検討された。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

<情報交換>

- ・宮城県内の工事量が冷え込んできている。特に仙台市内の出荷量が激減している。
- ・スーパーゼネコンの話として、ピークは過ぎている。
しかし、被災3県で当初復興予算の1/4程度の消化しかできていないのが、現実である。
- ・過度な使用による破損の発生が相変わらず起きている。費用負担と代替機の購入等の問題も発生している。
- ・高所作業車は高稼働率を維持している。
- ・厳しい状況が続いている。夏前には上向くはずだが、発注の状況が遅い。
- ・多くの小型工事が発注されているが、やはり工事の発注町の状況である。

平成 27 年 7 月 15 日

議事録署名人

理 事

(有)ウラタ建機リース

有田 哲郎 

理 事

ユナイト㈱

横山 昭裕 